

阿智村辺地対策総合整備計画

令和5年度～令和9年度

令和5年 3月
阿 智 村

総 合 整 備 計 画 書

長野県下伊那郡阿智村 本谷園原 辺地
(辺地の人口 277人 面積 3.7k㎡)

1 辺地の概要

- (1) 辺地を代表する町又は字の名称 濃間・中央・戸沢・園原・横川
(2) 地域の中心の位置 阿智村智里4083-1
(3) 辺地度点数 137点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、従来より農林業を育んできた農業地域のほか、古代東山道をはじめ史跡が多く残る「園原の里」の史跡とスキー場を合わせた観光地域として成り立っています。

また、本村では森林の面積が全体の92%を占めており、本辺地も古くから林業に取り組んでいる地域です。林道を整備することにより、木材を安全で容易に搬出できる様になり、搬出量の増加や作業時間の短縮などが期待できます。

整備計画に載せた村道及び林道については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっている一方で、観光シーズンには観光道路としての位置づけを持った道路としての機能も有しています。道路改良を行うことにより他の地域との生活基盤の格差を是正し、辺地住民の交通利便性を向上する計画です。また、地区内の橋りょう・トンネルについては、花桃祭りや星空ナイトツアーなど観光バスの利用頻度も多い中で老朽化が進んでおり、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されています。林道を通り登山に行く人も多いため、橋りょう・トンネルの修繕を行うことにより住民及び来村者の交通の安全を確保します。

さらに本辺地には恵那山及び富士見台高原への登山ルートが整備されており、平成13年に登山客が利用する山小屋施設が建設されました。この山小屋施設は昨今の登山ブームにより利用客が急増しており、需要の変化に合わせた機能強化及び長寿命化の対策を講ずる必要があります。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度から令和9年度までの5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業 債の予定額
			特定財源	一般財源	
林道改良 弓の又線	阿智村	60,000	17,000	43,000	43,000
林道改良 大谷霧ヶ原線		100,000	51,000	49,000	49,000
橋りょう修繕 大谷霧ヶ原1号橋		10,000	5,000	5,000	5,000
トンネル修繕 大谷霧ヶ原1号トンネル		50,000	25,000	25,000	25,000
橋りょう修繕 鳥越橋		30,000	15,000	15,000	15,000
富士見台高原山小屋施設整備事業		100,000		100,000	100,000
橋りょう修繕 横川橋		15,000	9,488	5,512	5,500
橋りょう修繕 殿島東橋		12,000	7,590	4,410	4,400
橋りょう修繕 本谷川橋		100,000		100,000	100,000
村道改良1-14号線及び4-324号線(戸沢)		20,000		20,000	20,000
村道改良2-16号線(園原)		10,000		10,000	10,000
村道改良3-301号線、3-302号線及び4-308号線(濃間)		19,000		19,000	19,000
村道改良4-326号線(戸沢)		27,500		27,500	27,500
合 計		553,500	130,078	423,422	423,400

総合整備計画書

長野県 下伊那郡 阿智村 浪合北部辺地
(辺地の人口 154人 面積 2.7k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 恩田・荒谷 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村浪合115-31 |
| (3) 辺地度点数 | 1 1 1 点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、標高1200mに位置する積雪寒冷地域であり、従来より農業を営んできた地域と、ゴルフ場、スキー場、農業体験施設などの観光を中心とした地域とで構成されていますが、若者の流出が著しく後継者不足により年々過疎化が進んでいます。観光では国道153号線沿いにあり観光地としての環境には恵まれているものの、昭和40年代に開発された地域ということもあり、入り込み客の増加が図られていない状況にあります。

本村では森林の面積が全体の92%を占めており、本辺地も古くから林業に取り組んでいる地域です。林道を整備することにより、木材を安全で容易に搬出できる様になり、搬出量の増加や作業時間の短縮などが期待できます。

整備計画に載せた村道及び林道については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっている一方で、観光シーズンには観光道路としての位置づけを持った道路としての機能を有しています。現在、村道・林道の老朽化が進みひび割れているため、住民の日常生活に多大な支障をきたしており、道路の改良を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。生活環境とあわせて、特産品の搬出路の確保も図られるため、主産業である農業の振興につながることや観光道路として集客性を高められることも期待されます。

また、国道153号線の迂回路として利用される路線は、生活道路としての位置づけだけでなく国道通行止めの際に多くの車両の通行が見込まれます。さらに整備計画に載せた当該橋りょうについて、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されており、修繕を行うことで交通の安全を確保します。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度から令和9年度までの5年間

(単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
橋りょう修繕 蘭2号橋	阿智村	3,000		3,000	3,000
橋りょう修繕 寒原橋		28,000	17,710	10,290	10,200
橋りょう修繕 恩田橋		21,000	13,282	7,718	7,700
橋りょう修繕 青木橋		16,000	10,120	5,880	5,800
村道改良1-17号線 (あららぎ線)		25,000		25,000	25,000
村道改良3-509号線 (榎木線)		5,000		5,000	5,000
村道改良3-519号線 (焼野線)		5,500		5,500	5,500
村道改良3-530号線 (七曲線)		15,000		15,000	15,000
林道改良弓の又線		30,000		30,000	30,000
合計		148,500	41,112	107,388	107,200

総 合 整 備 計 画 書

長野県下伊那郡阿智村 浪合東部 辺地
(辺地の人口 74人 面積 2.1 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 上半堀・下半堀 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村浪合773 |
| (3) 辺地度点数 | 149点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、従来より農林業を育んできた農業地域になります。気候と立地条件に恵まれないことから衰退するとともに、若者の流出が著しく年々過疎化が進んでいます。

整備計画上の村道及び生活道路も兼ねている林道極楽峠線については幅員が狭くカーブも多いため、住民の日常生活に多大な支障をきたしています。道路の改良を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。また、整備計画に載せた当該橋りょうについて、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されており、修繕を行うことで交通の安全を確保します。生活環境とあわせて、特産品の搬出路の確保も図られるため、主産業である農業の振興につながることや観光道路として集客性を高められることも期待されます。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度から令和9年度までの5年間 (単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
橋りょう修繕 旧御所平橋	阿智村	13,000	8,222	4,778	4,700
橋りょう修繕 陣畑橋		11,000	6,957	4,043	4,000
村道改良2-28号線 (一の萱線)		30,000		30,000	30,000
村道改良3-510号線 (平五郎)		8,000		8,000	8,000
林道改良極楽峠線		50,000		50,000	50,000
合 計		112,000	15,179	96,821	96,700

総 合 整 備 計 画 書

長野県 下伊那郡 阿智村 浪合中央部辺地
(辺地の人口 162人 面積 0.7 k㎡)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|---------------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 宮本・宮ノ原・中下町・浪合上町 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村浪合1004 |
| (3) 辺地度点数 | 118点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、旧浪合村の中心地となる地域で、従来より農林業を育ててきた農業地域と、波合関所跡、浪合神社などの歴史的財産による観光地域が共存して形成されています。農業は気候と立地条件に恵まれないことから衰退するとともに、若者の流出が著しく年々過疎化が進んでいます。

整備計画に載せた道路及び橋りょうについては、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっています。本辺地を含む浪合地区は村の中でも標高が高く、積雪量も多い地域であり、現在、凍結防止剤散布による劣化や経年による劣化の影響で老朽化が進み、住民の日常生活に多大な支障をきたしています。本辺地内の道路や橋りょうは小学校や保育園への連絡道路でもあり、改良及び修繕を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。生活環境とあわせて、特産品の搬出路の確保も図られるため、主産業である農業の振興につながることも期待されます。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度から令和9年度までの5年間

(単位 千円)

施 設 名	事業主体	事 業 費	財 源 内 訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の予定額
			特定財源	一般財源	
橋りょう修繕 浪間橋	阿智村	24,000	15,180	8,820	8,800
村道改良2-20号線 (深沢線)		5,000		5,000	5,000
村道改良2-21号線 (宮の原線)		20,000		20,000	20,000
合 計		49,000	15,180	33,820	33,800

総 合 整 備 計 画 書

長野県 下伊那郡 阿智村 浪合治部坂辺地
(辺地の人口 83人 面積 3.2k㎡)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|-------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 治部坂 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村浪合1718-5 |
| (3) 辺地度点数 | 147点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

本辺地は、標高1200mに位置する積雪寒冷地域であり、キャンプ場、スキー場、避暑地としての別荘開発など観光を中心とした地域です。国道153号線沿いにあり観光地としての環境には恵まれているものの、昭和40年代に開発された地域ということもあり、入り込み客の増加が図られていない状況です。

整備計画に載せた村道については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっている一方で、観光シーズンには観光道路としての位置づけを持った道路としての機能を有しています。現在、村道の老朽化に伴うひび割れや冬期の凍上等により、住民の日常生活に多大な支障をきたしており、道路の改良を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。また、整備計画に載せた当該橋りょうについて、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されており、修繕を行うことで交通の安全性を確保します。生活環境とあわせて、特産品の搬出路の確保も図られるため、主産業である農業の振興につながることや観光道路として集客性を高められることも期待されます。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度から令和9年度までの5年間 (単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
橋りょう修繕 萱小屋橋	阿智村	11,000	6,957	4,043	4,000
橋りょう修繕 清八橋		7,000	4,427	2,573	2,500
村道改良2-26号線 (もみじ平線)		10,500		10,500	10,500
あららぎ別荘地内村道改良事業		50,000		50,000	50,000
合計		78,500	11,384	67,116	67,000

総合整備計画書

長野県 下伊那郡 阿智村 上清内路辺地
(辺地の人口 200人 面積 4.0 k m²)

1 辺地の概要

- | | |
|--------------------|------------|
| (1) 辺地を代表する町又は字の名称 | 阿智村 上一、二 |
| (2) 地域の中心の位置 | 阿智村清内路2035 |
| (3) 辺地度数 | 1 3 2 点 |

2 公共的施設の整備を必要とする事情

上清内路辺地は、阿智村の最北部に位置し、北端は南木曾町に接しており、地区を縦断する国道256号線沿いに小さな集落が点在しています。

本地域は美濃・三河地方との交流が深く、ろくろ工芸や花火づくりなどの独特な文化が見受けられます。また、この地域には古くから農地を確保するため、各家々が墓を持たず、住民すべてが一つの同じ墓に入る「一山一墓」という制度が残っています。国内でも稀有なこの風習からは、地域住民の結びつきの強さを窺い知ることができる半面、墓を持つ場所を確保することも惜まれるほど平地が少ない地域であるともいえます。

整備計画に載せた道路網については、この地域の生活路線として欠くことの出来ない重要な路線となっています。現在、村道の老朽化が進みひび割れしており、住民の日常生活に多大な支障をきたしています。そのため道路の改良を行うことにより地域住民の日常の利便性や安全性を確保し、辺地住民の交通利便性の向上が期待されます。また、地区内の橋りょうについては、点検の結果早期に対策を講ずる必要があると判定されています。橋りょうの修繕を行うことにより交通の安全を確保します。

3 公共的施設の整備計画

令和5年度から令和9年度までの5年間 (単位 千円)

施設名	事業主体	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債の 予定額
			特定財源	一般財源	
橋りょう修繕 稗畑沢橋	阿智村	15,000	9,488	5,512	5,500
村道改良1-22号線 (上清本線)		15,000		15,000	15,000
村道改良3-668号線 (孫六線)		10,000		10,000	10,000
村道改良3-702号線 (マセノ線)		8,000		8,000	8,000
村道改良3-700号線 (滝ノ沢2号線)		10,000		10,000	10,000
林道橋りょう修繕 孫六橋		40,000	20,000	20,000	20,000
林道橋りょう修繕 大川入1号橋		15,000	7,500	7,500	7,500
合計		113,000	36,988	76,012	76,000